

## 目標達成計画

作成日: 平成 22 年 12 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	介護計画の評価を行う検討会議の課題がサービス提供記録(介護日誌)やカンファレンス記録から見いだせないため、課題の客観的把握が困難である。	介護計画に基づき、提供したサービス内容を日常的に記録し、評価することができる。記録を基に課題等を担当者会議で話し合い目標も含めた介護計画の変更を行うことができる。	スタッフ会議で介護記録やカンファレンス、モニタリングの記入、実施方法を再度全職員に学習し、PDCAサイクルが実践しているかを管理者とリーダーが定期的(3ヶ月)に確認をして行く。	6ヶ月
2	1	事業所独自の運営理念、運営方針を全員が確認しながら日常のケアに反映させている。地域密着型サービス事業所として、地域との関係性を重視した文言を取り入れた理念が望まれる。	現在の運営理念、運営方針に加え、地域密着型サービス事業所として、地域との関係性を重視した文言を取り入れた理念を全員で作成し、実践できる。	地域密着型サービス事業所として、地域との関係性を重視した理念を全員で作成し、実践できるように努める。	ヶ月
3	3	運営推進会議は平成21年6月に設置し、以後定例的に開催している。委員に行政側の代表が入っていないため、地域包括支援センター職員も含めて検討して頂きたい。なお、要綱等により委嘱行為の明文化を検討して頂きたい。	委員に行政側の代表に出席して頂き、助言等を運営に活かしていく。	要綱等により委嘱行為の明文化等、具体的な働きかけを行うように努めていきたい。	ヶ月
4	4	行政は地域福祉の推進役であるため、事業者側からアプローチし、連携を図るよう積極的に情報提供をしたり、研修の場として提供するなどの具体的な取り組みを期待したい。	行政と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいく。	行政と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように努めたい。	ヶ月
5	13	地域住民の協力を得ながら避難訓練を定期的実施することが望ましいため、運営推進会議で委員の理解を得ながら実践されるよう期待したい。また備蓄についても準備してほしい。	地域住民や消防団との連携により防災・避難訓練を定期的実施。	運営推進会議で委員の理解を得ながら地域住民や消防団の協力体制を築き、防災・避難訓練を定期的実施できるように努めたい。	ヶ月
6	15	職員は一緒に食事を取らず、食事支援のみであるので、食を通して利用者との関係が一層深まることから検討が望まれる。	利用者と職員と一緒に食事を味わうことで、馴染みの関係が一層深まり、利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っていく。	職員は食事支援のみならず、一緒に同じ食事を取るよう検討していく。	ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。